

# いのちのたんじょう

4・5歳児～小学校低学年

ねらい 誰の命も“かけがえのないたったひとつのいのち”であることに気づき、大切にしようと思う気持ちを持つ。

## 気づく

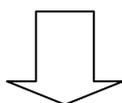
### 誕生日はいつかな？

自分の誕生日を知る。  
友だちにも誕生日があることに気づく。

#### 留意点

- ・誕生日を目に見える形で具体的に示し、その日を楽しみにできるようにする。

出席ノートに誕生日のシールを貼り、自分の誕生日を知る。誕生表を作ったり、誕生日を題材にした曲をみんなで踊ったりしながら、友だちにも誕生日があることを知る。



## 広げる・深める

### わたしの命の誕生

劇やスライド、ビデオ等をとおして、命の誕生のしくみや家族の思いを知る。

誰の命も“かけがえのないたったひとつのいのち”であることに気づき、大切にしようと思う気持ちを持つ。

#### 留意点

- ・お腹の中で誕生した命が、どのように医師や家族に守られながら大きく育っていくのか、その様子が伝わるようにする。
- ・赤ちゃんの誕生を家族みんなが待ち望み、愛されて生まれてくる様子が伝わるようにする。
- ・自分にも置き換えて感じられるように、各家庭でも生まれてきた日のことを話してもらおうよう保護者をお願いする。

「なかよし集会」を開き、保育者たちによる劇を見る。保護者にも参加を呼びかける。

絵本「あかちゃんはどこからきたの」、「おかあさん」（ともに岩崎書店）や胎児の写真、出産ビデオ、産声等を組み合わせで教材をつくる。



わたしがうまれてきたときもうれしかった？



## 計画する

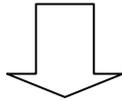
### ちゃんの誕生日に向けて

掲示板を見て、明日、友だち ちゃんの誕生会があることを知り、お祝いする気持ちを持つ。

#### 留意点

- ・友だちの誕生日を一緒にお祝いしようと思う気持ちを持てるようにする。
- ・親子で「おめでとう」と、声が掛けられるようにする。
- ・ ちゃんが喜んでくれるように、誕生会の飾りや言葉を考える。

誕生児の写真をクラスの出入口に掲示し紹介する。保護者も一緒にお祝いできるようにする。



## 実践する

### ちゃんの誕生日をお祝いしよう

友だちの誕生日をお祝いする。  
お家の人を招いて、生まれたころや小さいころの話を聞く。  
ちゃんに質問し、友だちのことをもっとよく知ろうとする。  
良い所やがんばっているところを、友だちやお家の人、保育者などみんなで伝え合う。

#### 留意点

- ・みんなから祝福され、ひとつ大きくなったことに喜びを感じ、今後の自信につながるようにする。
- ・友だちの誕生日を一緒に祝いながら、さらに友だちのことに関心が持てるようにする。

お家の方に協力を願い、生まれたころの写真やそのころ使っていた服やおもちゃ等あれば持ってきてもらう。誕生児は「おめでとう」のワッペンをつける。



### 《劇のストーリー》

ある日、お母さんがとってもうれしそうに、「私のお腹に赤ちゃんがいるのよ」と家族に伝えます。お父さんも、おばあちゃんも、おじいちゃんも、お姉ちゃんも赤ちゃんが生まれてくるのをとても喜び楽しみに待ち望みました。

赤ちゃんはどうしてやってくるのかな？...という場面では、健診に行く病院の先生が、スライドで説明してくれます。「命のはじめは、お母さんがお腹の中に持っている赤ちゃんの卵とお父さんが持っている赤ちゃんの種が、“こんにちは”って仲良く出会って命ができたんだよ。そして、その命は、お母さんのお腹の中で、おへそから栄養をいっぱいもらって大切に育てられて大きくなり、赤ちゃんの生まれる道を通って生まれてきたんだよ」と。

しばらくして、お母さんの大きくなったお腹がいよいよ痛くなりました。赤ちゃんが生まれる日がきたのです。( - ビデオ - 赤ちゃん誕生の様子 ) 赤ちゃんの鳴き声とともに、お父さんも、お母さんも、おばあちゃんも、おじいちゃんも、お姉ちゃんもうれしくて涙がいっぱい出るくらいにとても喜びました。



### 【学習を進めるにあたって】

- ・保護者も一緒に考えていけるように、啓発紙を発行したり、劇を子どもと一緒に見てもらったりする。
- ・また終了後は、わが子の誕生を振り返ることで、あらためて命の尊さに気づいたり、いとおしく向き合えたり、わが子との出会い直しの機会となるように働きかける。
- ・子どもの家庭背景にも配慮し、必要に応じて個別に家庭と連絡を取り合う。事前事後の子どもの様子にも注意し、自分の存在そのものが大切な存在であると受け止められるように関わる。